

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計 : 334,849 件 (11月24日時点))

※過去最多:令和4年8月10日 3,990人 (第6波までの過去最多 : 2,351件 (2月3日))

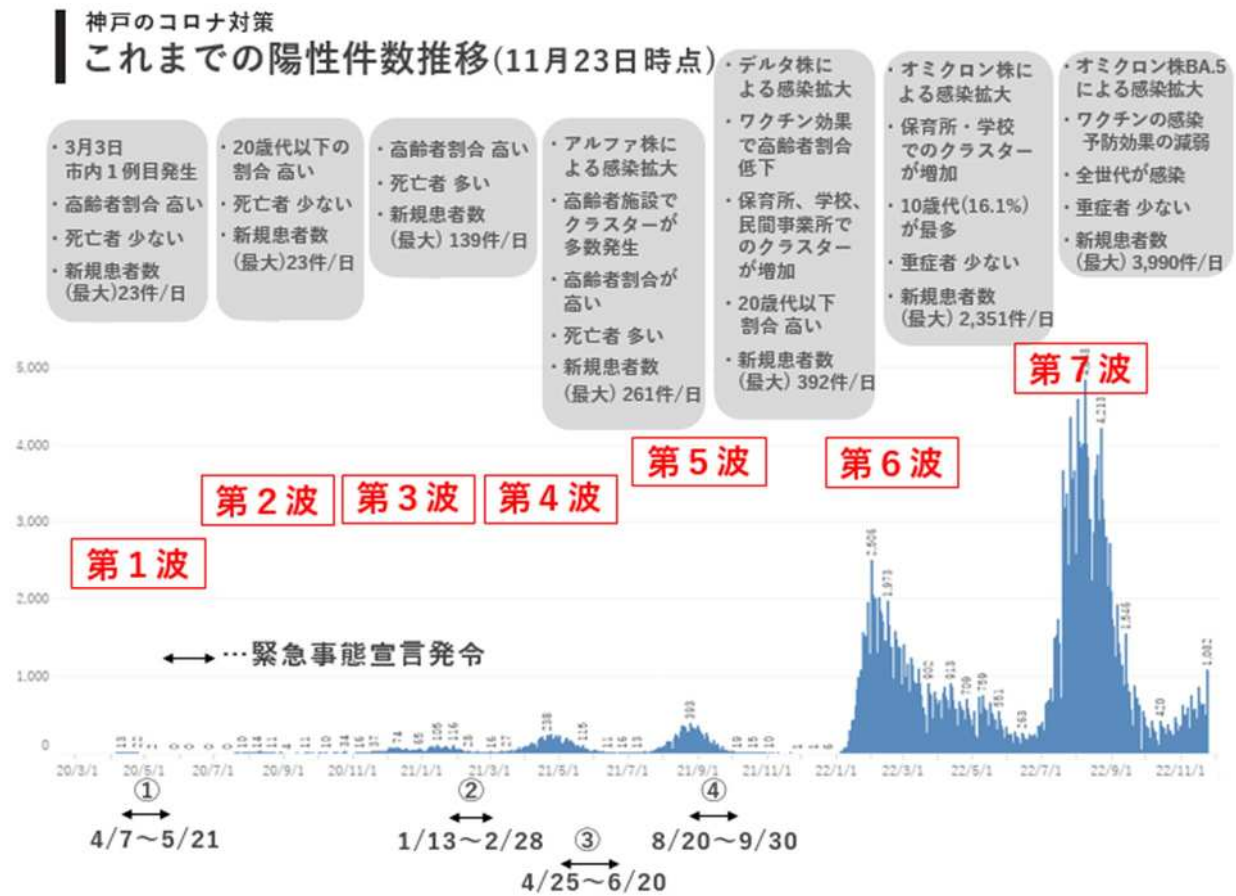
●直近の状況 (発表日ベース)

11/21 ~ 2801人 前週の同日比 (累計) +562人 +25%

	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	11/21~11/27	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27
	感染者数	502	256	1082	961			
	累計/週	502	758	1840	2801			
	先週比 (累計)	+42	+49	+262	+562			
	先週比 (%)	+9%	+7%	+17%	+25%			
先週	11/14~11/20	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20
	感染者数	460	249	869	661	624	585	642
	累計/週	460	709	1578	2239	2863	3448	4090
先々週	11/7~11/13	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13
	感染者数	329	241	758	565	537	517	580
	累計/週	329	570	1328	1893	2430	2947	3527

・直近の陽性件数の状況は、10月中旬頃より、全週同曜日比で増加している。

(2) 期間別の感染状況



(3) 入院・入所者数の直近の比較

①入院の状況

11月23日現在で病床使用率は46.5%(185/398床)、
重症患者病床使用率35.6%(16/45床)、うち重症者6.7%(3/45床)

②宿泊療養施設の状況

10月13日現在で使用率は12.2%(86/703室(6施設合計))

3 第8波に向けた対応

今冬は、全国で新型コロナウイルスの患者が1日45万人、インフルエンザの患者が1日30万人規模で同時流行し、ピーク時には1日75万人の患者が生じる可能性が想定されている。

国は、同時流行対策を都道府県等に要請するとともに、国民に抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の事前購入を呼びかけている。

国の方針を踏まえ、神戸市においても、発熱外来をすみやかに受診できない場合に備え、感染確認に必要な新型コロナ抗原定性検査キットや、自宅療養に必要な解熱鎮痛薬を、あらかじめ準備していただくよう、市民に呼びかけを行うとともに、以下の必要な対策を講じる。

(1) 感染拡大防止

① 備蓄用の新型コロナ抗原定性検査キットの無償配布（11月16日～）

流行拡大時の医療機関のひっ迫対策を目的として、神戸市独自で、発症時に使用する備蓄用に新型コロナ抗原定性検査キットを中学校・高等学校等の生徒に無償で配布（1人2キット、1回限り）し、早期発見・早期療養を図っている。

・対象者

市内在住の中学校、高等学校、特別支援学校（中学部、高等部）の生徒

（中・高校生相当の各学校（高等専門学校、外国人学校等）に通う生徒も対象）

※国は、小学生以下の児童はインフルエンザによる重症化のリスクが高いため、かかりつけ医などの地域の医療機関を受診することを方針としており、今回の配布対象とはしていない。

・申込受付期間

中学生：令和4年11月16日（水曜）～12月20日（火曜）

高校生：令和4年11月18日（金曜）～12月20日（火曜）

・配布実績（令和4年11月24日時点）

10,782件

・スキーム図

発熱等の症状が現れた時には検査キットで早期にセルフチェックをして、

新型コロナ陽性の場合→早期の自宅療養を呼び掛け

陰性の場合→38.5度以上の発熱等、インフルエンザが疑われる症状がある方には、かかりつけ医等の医療機関への受診を勧める



②インフルエンザの予防接種の啓発

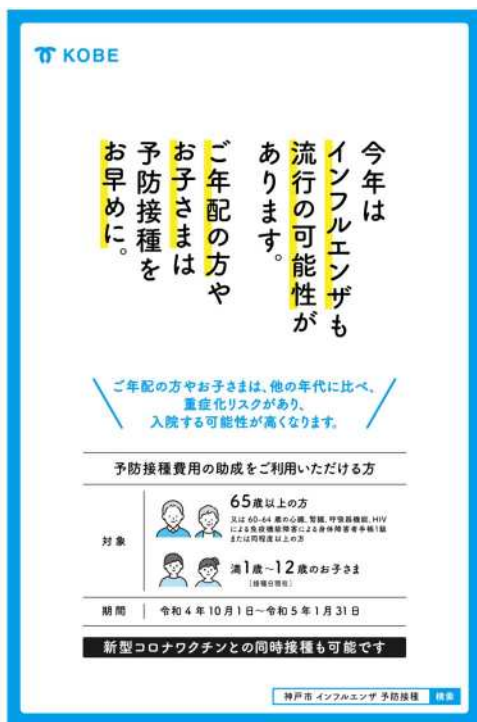
インフルエンザの予防接種には、発症を予防する効果や発症した場合であっても重症化を防ぐ効果がある。

また、今年度より、新型コロナワクチンとの接種間隔の規定が撤廃され、同時接種も可能となったことから、より接種を受けやすくなった。

今冬は、新型コロナウイルス感染症との同時流行に備え、重症化を防止し、病床の逼迫を防ぐためにも、早期に接種を受けていただきたいと考えており、デジタルサイネージ・ポスターを活用した公共交通機関及び商業施設における啓発のほか、市ホームページ及びSNSによる広報を実施するなど、様々な呼びかけを行っている。

※インフルエンザの予防接種の啓発ポスター（市）および

抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の事前準備の啓発リーフレット（国）



③定期的検査の実施

直接介護等に従事する職員への定期的検査の対象について、入所施設・通所施設で直接介護に従事する職員への定期的検査を実施してきたが、8月22日より高齢者等への接触が多い訪問系事業所を対象を拡大している。

④変異株ゲノムサーベイランス体制の確保

神戸市健康科学研究所では、市内の医療機関や医師会の協力を得て陽性検体を研究所に集約する体制を整え、新たな変異株を検知できるゲノムサーベイランス体制を確保している。（詳細は「3 変異株について」に記載）

(2) 医療提供体制の確保

①病床の確保（11月21日時点）

- ・受入可能な病床は398床（うち重症病床45床）。
- ・感染拡大時には、公的病院において病床を拡大し、434床（うち重症病床53床）を確保する。
- ・さらに、病床ひっ迫時には、市民病院において通常医療を制限し、最大479床（うち重症病床53床）を確保する。

（参考）兵庫県の医療提供体制にかかるフェーズ：「フェーズⅢ」

入院フェーズ		I	II	III	IV	V	
切替の目安	病床利用率	10%未満	10%以上	30%以上	50%以上	総合的に判断	
体制	病床	病床数	800床程度	1,000床程度	1,200床程度	1,400床程度	1,700床程度
		うち重症	40床程度	70床程度	100床程度	120床程度	140床程度
	宿泊	室数	800室程度	1,100室程度	1,400室程度	1,700室程度	1,800室程度

※国の新たなレベル分類を踏まえ、フェーズⅢの病床利用率が20%以上→30%以上に
変更された

②宿泊療養施設の強化

現在、宿泊療養施設を6施設703室稼働している。

要介護者の緊急入院が必要となった場合で、休日・夜間など入院調整に時間を要する場合等に、入院するまでの間の一時対処のため、ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟の入所定員を30名（要介護20人、ハイリスク10人）確保している。

また、神戸ポートタワーホテル15室、サンルートソプラ神戸アネッサ16室においても体制を強化し、酸素が必要で重症化リスクの高い方を一時的に受け入れている。

更に、第8波対策として、要介護者対応の強化のための新たな施設の確保に向け、調整を行っている。

③外来医療提供体制の確保

ア) 発熱等診療・検査医療機関の確保

発熱等診療・検査医療機関として現在、424か所確保している。

新規登録や既に登録のある医療機関には出来る限りの診察時間の延長（土・日・祝日・時間外等）を検討いただき、発熱患者の外来診療受入れ体制の強化に更なる協力を行っていただけよう、医師会を通じて依頼し、調整を行っている。

・発熱等診療・検査医療機関数

256か所（3月3日時点）→424か所（11月17日時点）

イ) 有症状者への検査キットの配布、確定診断（8月4日～）

発熱外来のひっ迫対策として、「神戸市オンライン確認センター」を設置し、発熱等の新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方に対し、抗原定性検査キットを無料で配布し、陽性判定の方には保健所医師による確定診断をするとともに、薬局において薬の配布等を実施している。

また、11月25日より、検査キットの配布対象者を、6歳～59歳の軽症の方から、6歳～64歳の軽症の方に拡大するとともに、1人2回までとしている申し込みの配布回数について、すでに申し込みをされた方についても、11月25日から、改めて1人3回まで申し込みができるように変更している。

加えて、感染拡大時には「神戸市オンライン確認センター」にて確定診断を行う保健所医師の体制を強化し、迅速な対応を行う。

・対象者

神戸市在住の基礎疾患等がない6歳～64歳の方で、発熱等の新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方。

・実績(8月4日～11月18日)

キット申し込み数	キット申し込み数のうち、陽性者数	陽性率
66,461人	15,368人	23.1%

市内陽性者数	神戸市オンライン確認センターでの陽性者数	神戸市オンライン確認センターでの確定診断割合
128,315人	28,042人	21.8%

④自宅療養者へのフォローアップの強化

9月26日(月曜)から新型コロナウイルス感染症の発生届の全数届出の見直しが全国一律で適用されている。

神戸市では、9月5日より自宅療養フォローアップセンターを24時間対応とし、患者自らがオンラインで個人情報や基礎疾患等を登録する仕組み「陽性者登録フォーム」を自宅療養フォローアップセンターに設け、フォローアップ体制を強化した。

届出対象となる方も、届出対象外となる方も、市民一人ひとりの状況に応じてしっかりフォローしており、今後の感染の状況に合わせて体制を強化していく。

・発生届対象外、陽性者登録フォームの登録割合(9月28日～11月20日発表分)

①陽性者数	②発生届	③発生届対象外*		④発生届対象外分の割合* (③/①)	⑤陽性者登録フォームの登録数	⑥陽性者登録フォームの登録割合* (⑤/③)
		(①-②)				
			オンライン確認センター			
20,151	4,416	15,735	3,019	78%	12,638	80%

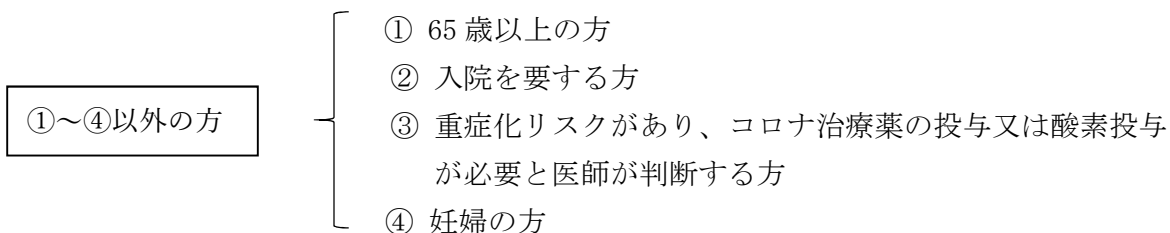
①陽性者数：発表前日にHER-SYSに登録された数(HER-SYS以外の報告は発表前々日分を神戸市が代行登録)

②発生届：発表前日に保健所へ届出された数、③発生届対象外：①から②を差し引いた数

⑤陽性者登録フォームの登録数：発表前々日に患者が申請した数(オンライン確認センターの自動登録を含む)

*①②⑤は同一の日とは断定できないため、③④⑥は参考値

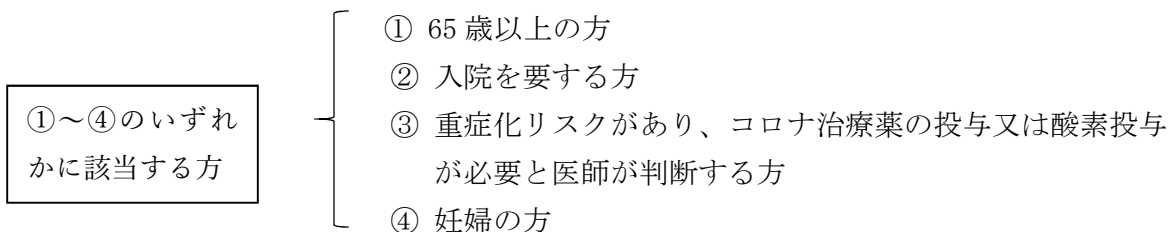
ア) 届出対象外となる方



フォローアップの仕組み（陽性者登録フォーム）

- ・患者自らが「陽性者登録フォーム」に個人情報、基礎疾患などを登録。
 - ・体調悪化時には、24時間対応の自宅療養フォローアップセンターに連絡いただき、「陽性者登録フォーム」の情報を踏まえて、外来受診、往診、入院等を迅速に調整。
- ※「陽性者登録フォーム」に登録いただいていない方についても、体調悪化時には患者情報を聞き取りの上で対応。

イ) 届出対象となる方への対応（重症化リスクが高い方）



フォローアップの仕組み

- ・保健所が発生届を受理した後、各区保健センターから患者へ連絡を行い、健康状態などを把握し、入院、入所、自宅療養を調整。
- ・自宅療養者の健康観察は各区保健センターが実施。

○自宅療養者に対する医療提供体制

自宅療養者への早期対応による重症化防止対策として、外来受入医療機関を確保しており、また、医師会および民間事業者による24時間の往診体制を確保している。

第8波に備え、更なる外来受入医療機関の確保に向けて取り組む。また、民間事業者による往診体制については、今後の感染の状況に合わせて体制を強化していく。

- ・外来受入医療機関数：25 医療機関（11/18 時点）
受入実績：令和4年度 815 件（11/18 時点）
- ・往診（24 時間対応）（医師会、民間事業者）：令和4年度実績 1,390 件（11/15 時点）
- ・電話診療（24 時間対応）（民間事業者）：令和4年度実績 412 件（11/15 時点）
- ・オンライン診療（24 時間対応）（民間事業者）：令和4年度実績 43 件（11/15 時点）

⑤特別な配慮が必要な医療提供体制の確保

新型コロナウイルス感染症の新規感染者が増加し、出産をひかえる陽性妊婦や陽性透析患者が増えてきていることから、本年8月17日～10月16日の間に実施した陽性妊婦出産受け入れ支援事業及び陽性透析患者受け入れ支援事業を期間限定（令和4年11月24日から令和5年1月23日の2か月間）で再開。

- 陽性妊婦出産受け入れ支援事業（医療機関への支援内容）
 - ・陽性妊婦の出産（かかりつけ・かかりつけ以外）支援金
1人受入 300千円
 - ・かかりつけ以外の陽性妊婦の出産受入支援金
事前登録 1,000千円/月 ※ただし1か月に1人以上の受入が必要
- 陽性透析患者受け入れ支援事業（医療機関への支援内容）
 - ・入院受け入れ 12,000円/人/日
 - ・通院受け入れ 12,000円/人/日

⑥要介護者の入院受入体制等の強化

- 高齢者施設等への医療提供体制の強化
 - ・感染制御・業務支援チームの派遣
入所施設への派遣：143件（1月1日～10月31日）
 - ・地域の医療機関との連携による往診体制の構築
 - ・生活支援も含む訪問看護ステーションの確保
訪問看護ステーション契約数：34か所（11月15日時点）
 - ・陽性患者宅へ訪問介護事業者がサービス提供できるよう、感染症研修内容を継続的に動画配信
 - ・高齢者施設等への感染症予防対策の巡回訪問指導
- 要介護者の入院受入体制等の強化
 - ・要介護者の入院受入支援金（同時期に複数名受入）

3 変異株について

神戸市健康科学研究所では、市内の医療機関や医師会の協力を得て陽性検体を研究所に集約する体制を整え、新たな変異株を検知できるゲノムサーベイランス体制を確保している。

世界各地でオミクロン株の BA.2 系統や BA.5 系統を起源とする亜系統が多数発生している。国立感染症研究所のシステムによる系統分類基準が令和4年10月19日に更新され、これまでは BA.1 系統や BA.2 系統として分類していたが、新たに分類基準が示されたものについては再分類することとなり、神戸市で BA.4.6 系統（BA.4 系統の亜系統）、BF.7 系統（BA.5 系統の亜系統）等を確認した。

さらに、10月31日以降、XBB 系統（BA.2 系統の亜系統の組換え体※）や、BQ.1.1 系統（BA.5 系統の亜系統）、BA.2.3.20 系統（BA.2 系統の亜系統）の神戸市1例目を確認した。

神戸市でも様々な亜系統を確認しているが、新たな亜系統であっても、これまでの感染対策を実施することにより、感染予防につながることを呼びかけている。

※組換え体…2種あるいはそれ以上の同種または近縁ウイルス間で、遺伝子の一部が組換わったゲノムを有するウイルスのこと。同じ人が同時に複数のタイプの新型コロナウイルスに感染した場合に発生する可能性がある。

○ゲノム解析の状況（令和4年11月17日時点）

	7/4- 7/31	8/1- 8/28	8/29- 9/25	9/26- 10/2	10/3- 10/9	10/10- 10/16	10/17- 10/23	10/24- 10/30	10/31- 11/6	合計
ゲノム解析率※	2.5%	1.6%	1.2%	0.7%	0.5%	0.8%	0.7%	4.0%	3.3%	1.8%
BA.1 系統	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
BA.2 系統	288	40	0	0	0	0	0	4	2	334
BA.2.3.20 系統	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
BA.2.75 系統	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
XBB 系統	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
BA.4 系統	22	10	0	0	0	0	0	0	0	32
BA.4.6 系統	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
BA.5 系統	1,011	1,278	364	14	9	14	14	83	89	2,876
BA.5.1 系統	81	88	18	1	0	2	0	7	3	200
BA.5.2 系統	808	1,086	333	13	9	12	14	71	76	2,422
BF.5 系統	94	253	95	7	4	4	4	23	29	512
BF.7 系統	1	2	6	0	0	0	0	0	1	11
その他の BF 系統	84	57	12	0	0	0	0	2	3	158
BA.5.3 系統	100	90	11	0	0	0	0	5	2	208
BE 系統	91	71	4	0	0	0	0	1	1	168
BQ.1.1 系統	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5
その他の BA.5 系統	22	14	2	0	0	0	0	0	8	46
ゲノム確定件数	1,322	1,328	364	14	9	14	14	87	91	3,243

※ゲノム解析率：当該期間の新規感染者数のうち、ゲノム解析を実施した割合

※各系統の内数は、注目すべき系統や、神戸市で多く発生している系統を抜粋している。今後、注目すべき系統等が出現した場合は、項目を追加する。

4 新型コロナワクチン接種

(1) オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種について

新型コロナウイルスのオミクロン株に対応したワクチン（以下「オミクロン株対応ワクチン」という。）は、新型コロナウイルスのうちオミクロン株に対応した成分も含まれるため、従来ワクチンを上回る重症化予防効果や、短い期間である可能性はあるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待されている。

オミクロン株対応ワクチンを使用した追加接種については、9月27日より接種を開始しており、初回（1・2回目）接種を完了し3か月経過している12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種できる。

神戸市では、個別接種医療機関、集団接種会場に加え、大規模接種会場（ハーバーランドセンタービル会場）を再設置したほか、12月の予約枠を拡大するなどオミクロン株対応ワクチンの接種を希望される方が速やかに接種を受けられるよう取り組んでいる。

（２）オミクロン株対応ワクチンの接種対象者への案内について

オミクロン株対応ワクチンの接種は、3回目又は4回目の接種を終えている方には接種券を送付するとともに、既に接種券を送付したものの、まだ接種を受けていない方には、個別に「オミクロン株対応ワクチンの接種のお知らせ(ハガキ)」を送付することで、オミクロン株対応ワクチンの接種を受けられることを案内した。

併せて、初回（1・2回目）接種を完了されていない方に対して、オミクロン株対応ワクチンの接種を受けていただくためには、年内に初回接種を完了する必要がある旨、個別に案内ハガキを送付した。

（３）乳幼児（6ヶ月以上4歳以下）への接種について

神戸市では、国の方針に従って令和4年11月21日から、生後6か月以上4歳以下のお子様（乳幼児）に新型コロナワクチン接種を開始している。

乳幼児への新型コロナワクチンの接種は3回の接種が必要となっており、また、自己負担なしで新型コロナワクチンの接種を受けられる特例臨時接種の実施期間は、現時点では令和5年3月31日までとされているため、かかりつけ医などとよく相談の上、接種を希望される方は早めに予約いただくよう呼びかけている。

（４）接種実績

○オミクロン株対応ワクチン

（令和4年11月21日時点）

	接種済み者数	神戸市人口比	接種対象人口比
65歳以上	80,214人	18.5%	19.8%
12歳～64歳	122,407人	13.0%	16.0%
合計	202,621人	14.7%	17.3%

○小児（5歳以上11歳以下）接種

（令和4年11月21日時点）

	接種済み者数	年齢別人口比
1回目接種実績	8,426人	9.8%
2回目接種実績	8,010人	9.3%
3回目接種実績	1,892人	2.2%

(5) 接種体制

①個別接種医療機関（市内 789 か所）

（令和4年11月21日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	135	長田区	45
灘区	87	須磨区	70
中央区	122	垂水区	90
兵庫区	53	西区	96
北区	91	合計	789

②集団（16 か所）・大規模（1 か所）接種会場

（令和4年11月29日時点）

区	会場名	ワクチン
東灘区	東神戸センタービル WEST 棟 8 階	BA. 4-5_ファイザー
	神戸ファッションプラザ 9 階	
灘区	サザンモールセカンドストリート 2 階	
中央区	センタープラザ 9 階	BA. 4-5_ファイザー ノババックス
	市役所 1 号館 24 階 （夜間接種会場（平日 18:00～21:00））	
	神戸キメックセンタービル 4 階	BA. 4-5_ファイザー
	ハーバーランドセンタービル （大規模接種会場）	BA. 4-5_ファイザー 従来型ファイザー
兵庫区	兵庫区役所 2 階（みなとがわホール）	BA. 4-5_ファイザー
北区	鈴蘭台プラザ	
	エコール・リラショッピングセンター本館 5 階	
長田区	長田区文化センター 3 階	
須磨区	須磨区役所 4 階	
	須磨パティオ健康館 2 階	
垂水区	垂水年金会館 4 階	
西区	西神中央駅ビル 2 階北側	
	JA 兵庫六甲西神文化センター 4 階	
	キャンパススクエア本館 2 階	

※ 兵庫区役所 2 階（みなとがわホール）会場は、令和 5 年 1 月 6 日から神鉄ビル 6 階に移転予定。

※ 神戸ファッションプラザ 9 階会場及び神戸キメックセンタービル 4 階会場は、令和 4 年 12 月 25 日をもって運営を終了する予定。

③小児（5歳以上11歳以下）の個別接種医療機関（市内139か所）

（令和4年11月21日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	26	長田区	6
灘区	16	須磨区	10
中央区	17	垂水区	21
兵庫区	9	西区	18
北区	16	合計	139

④乳幼児（6ヶ月以上4歳以下）接種の個別接種医療機関（市内89か所）

（令和4年11月21日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	20	長田区	2
灘区	11	須磨区	5
中央区	11	垂水区	15
兵庫区	4	西区	13
北区	8	合計	89

（6）その他の接種

①施設接種の促進

市内の高齢者施設・障害者施設等での接種について、迅速に完了できるよう支援する。

- ・ 接種実施にかかるマニュアルの提供
- ・ 利用者等の接種券の確保支援
- ・ 施設等からの個別相談対応
- ・ 神戸市医師会と連携した接種医のあっせん（接種医を確保できない場合）

②訪問接種

寝たきり状態などにあり移動が難しい方など、医療機関や集団接種会場で接種を受けることが難しい方のご自宅に、医師や看護師などで構成された巡回接種チームを派遣。

○対象者

高齢者等で医療機関や大規模・集団接種会場に行くことができず、往診での接種もできない方とその介護者・同居者等

○申し込み方法

ケアマネージャー・障害者相談支援センターを通じて申し込みを受け付け

③配慮が必要な方のための接種会場

知的障害者（療育手帳所持者）、精神障害者（精神障害者保健福祉手帳1級所持者）の方等で、集団接種会場等で新型コロナワクチンを接種することが難しい方やその介助者のための接種会場を設置。

○対象者

「療育手帳」または「精神障害者保健福祉手帳 1 級」を持っている方等で、かかりつけ医や集団接種会場での接種が困難な方

○申し込み方法

専用予約電話（078-277-3327）で予約を受け付け

○開設場所・日時

神戸市役所 1 号館 24 階（中央区加納町 6 丁目 5-1）

日程：毎週木曜日（13：30～16：30）